

知っていますか？ オフィスチェアの正しい座り方

STEP 1

座面に奥深く腰かける

- 体圧を背と座で最適に分散する
- 背骨の自然なS字カーブを描かせる

※背骨は立位時に自然なS字カーブを描くとされ、椎間板への負担が軽減され、頭や腕を適切に支えることができます。

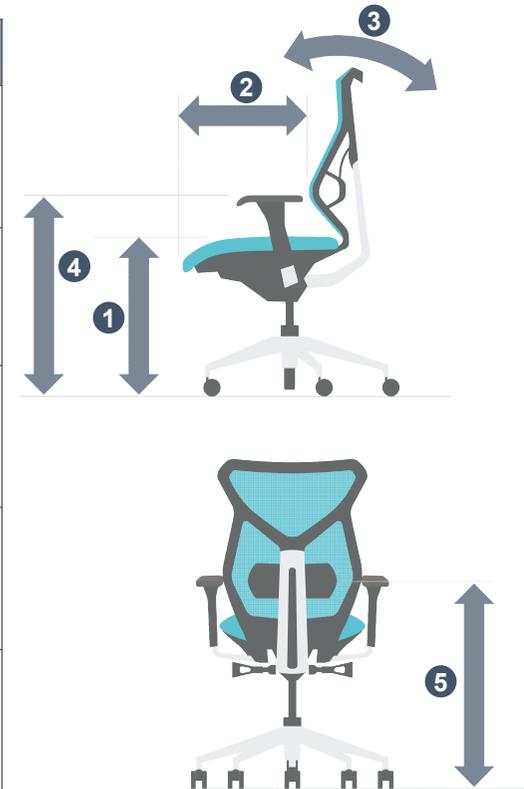


STEP 2

体格に合わせて調整する

※各種調節機能がある場合

調節箇所	調節の目安	目的
① 座面の高さ	太ももが床と水平になり、かかとが床につき、膝下と床の角度が90°	血流悪化を招く太もも裏の圧迫を防ぐ
② 座面の奥行	膝裏と座面前縁に25mm程度(約指2本分)の隙間が空く	椅子の浅掛け防止と、適切な座面の広さにより体圧を分散する
③ ロッキング強さ	腹筋に強く力を入れなくても、背もたれが好きな角度で止まる強さ	姿勢の変化を促し、また、後傾姿勢により背座で体圧を分散する
④ 肘パッドの位置	自然に肘が付く位置より少し高め、または机上面の高さに合わせる	腕の重さを支え、肩と首の筋負担を軽減する
⑤ ランバーの位置	ランバーサポートを背骨(腰部)の最も凹んでいる部分に合わせる	背骨を自然なS字カーブに近づけ、腰椎椎間板の圧迫や猫背による首や背中、腰の負荷を軽減する



01

Functionality

からだの負担を軽減し、快適な座り心地をサポートする機能

頭

■ 頭部を支えるヘッドサポート

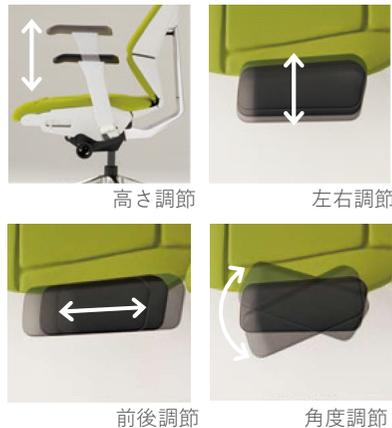
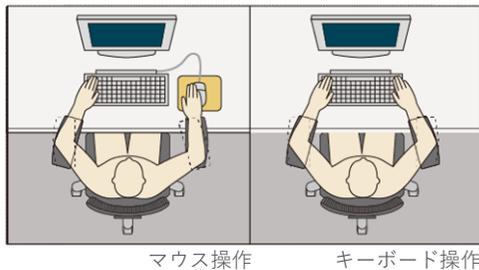


後傾姿勢での作業時に、より**安定した頭部の支持**が可能です。

肘

■ 体格や姿勢に合わせて調節可能なアジャスタブル肘パッド

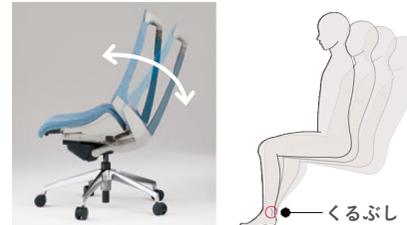
首や肩、腕に負担がかかる長時間のPC作業でも、細かな調節機能で**疲労を緩和し、肩と首の筋負担を軽減**します。



背もたれ

■ アンクルムーブ・シンクロロッキング機構

くるぶしを支点に背と座の角度が連動して傾きます。姿勢変化の追従性に優れ、**自然な姿勢を保ち、背座で体圧を分散**します



■ 背と腰を支えるランバーサポート

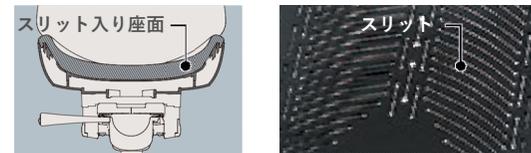
椅子に座った時に曲がった背筋を押し伸ばすことで、**背骨を自然なS字カーブに近づけ、首、背中、腰の負担を軽減**します。



座面

■ 荷重に応じて自在にたわむシート

多数に入ったスリットが、荷重に応じて自在にたわむため、**体にフィットし体圧を分散**。着座時の**圧迫を軽減**します。**不快な熱や湿気やこもりを防ぎ、長時間座っても疲労感の少ない、やわらかな座り心地**です。



■ 座面の奥行調節

一人ひとりの体格や作業姿勢に合わせて**ポジション設定**が行えます。



02

Safety

ワーカーの安全に配慮した仕様とサービス

張地

■ 抗ウイルス仕様張地

感染リスクを軽減させる、抗ウイルス・抗菌・防臭加工（バイラルオフ）張地を使用しているため、不特定多数の人が触れても安心です。



バイラルオフ加工

銀イオンをベースとした繊維上の特定のウイルスを減少※させる加工技術です。バイラルオフ加工が施されることによって、繊維製品を媒介とした感染リスクの低減に役立ちます。※当加工はウイルスの働きを抑制するものではありません。

※試験方法：ISO 18184:2019、試験対象：ATCC VR-1679 (H3N2), SARS-CoV-2

チェアの安全性を長期間サポート

■ イトーキのアフターサービスで長く安全にお使いいただく

チェアには保証期間とは別に標準使用期間（安全に使える期間）が定められています。パーツ交換や補修メンテをすることで長くご愛用いただくことができます。

□チェアの安全チェック



JOIFA標準使用期間 回転椅子 : 8年
非回転椅子 : 8年

※JOIFA（一般社団法人日本家具協会）標準使用期間は耐用年数、保証期間ではありません

03

Sustainability

サステイナブルなものづくり

ユニバーサルデザインとエコデザインの融合

環境配慮型商品の配慮を掲げるイトーキでは、人への配慮を具現化するため「Udプロダクト指針」と、地球への配慮を具現化するための「Ecoプロダクト指針」の2つの開発プロセスを組み込み、製品開発を行っています。



Udプロダクト指針

安心

安全かつ安心であること

からだ

身体負担が少ないこと

感覚

感覚特性に配慮すること

あたま

理解しやすいこと

自由

自由度があること



Ecoプロダクト指針

省資源・省エネ

資源の有効利用に配慮すること

リデュース

廃棄物・有害物質の排出削減に配慮すること

リユース

製品の長寿命に配慮すること

リサイクル

部材の再利用に配慮すること

企業責任

社会的責任に配慮すること